# 苗穂周辺地区

東　区
中央区

## 地区の概要

当地区は都心から東へ約2kmに位置し、明治の初めにはビール工場などの官営工場が多数建てられ、商工業の街として栄えていましたが、人口減少と商店街の衰退、木造老朽家屋の密集、各種用途の混在等の問題を抱え居住環境の改善が望まれていました。

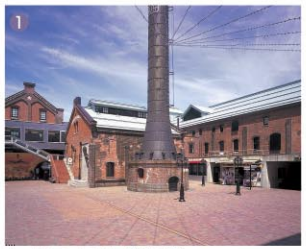
そのような中、昭和56年に「豊平川河畔地域左岸地区整備基本構想」が策定され、市街地再開発事業等の実施のほか、苗穂中央地区には面的に地区計画（8.0ha）と高度利用地区（8.0ha）の都市計画を定めるなど、魅力ある都市空間の形成と土地の健全な高度利用を進めています。

また、平成14年10月に「札幌北四条東六丁目周辺地域」として国の都市再生緊急整備地域に指定された北海道ガス（株）札幌工場跡地周辺では、環境共生型市街地のモデルになるような民間開発が期待されています。

### ①ビール工場跡地地区

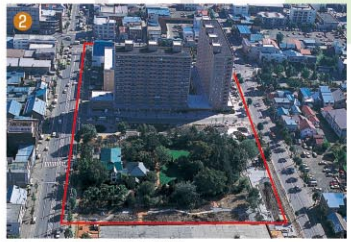
**優良建築物等整備事業**
（平成元～4年度　高度化更新型）
歴史を刻む赤レンガ建築物と光あふれるアトリウムの融合

サッポロファクトリー（アトリウムの様子）


サッポロファクトリー（煙突広場）

### ②旧永山邸周辺地区

**第一種市街地再開発事業**
（昭和61～63年度　公社施行）
先人のロマンに触れる旧永山邸の保存と緑豊かな居住環境の創出

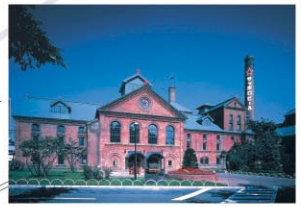

ラポール永山公園，永山記念公園


旧永山邸

地区の見どころ

### 旧永山武四郎邸

明治の前半に建てられた和洋折衷の建築様式が特徴で、北海道の有形文化財のほか、「開拓史時代の洋風建築」として北海道遺産にも選ばれています。


サッポロビール博物館

地区の見どころ

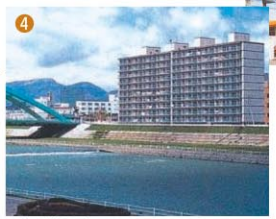
### 苗穂の工場・記念館群

サッポロビール博物館やJR苗穂工場の鉄道技術館等は「苗穂の工場・記念館群」として平成16年に北海道遺産に選定されています。

### ③苗穂中央第3地区

**第一種市街地再開発事業**
（平成3～9年度　組合施行）
苗穂地区にそびえるランドマークとして大規模コミュニティを創造

ライオンズマンション・札幌スカイタワー


ラポール大通東

### ④苗穂中央第2地区

**第一種市街地再開発事業**
（昭和60～62年度　公社施行）
ゆとり・潤いのある居住環境の創出と水道局庁舎との一体的整備

### 苗穂駅周辺のまちづくり

苗穂駅周辺では、ＪＲ線による南北分断の解消をめざそうと、10年以上前からまちづくり活動が活発に行われてきました。現在は「苗穂駅周辺まちづくり協議会」を中心に情報誌の配布、イベントの開催など身近なまちづくりや再開発の勉強会などの幅広い活動が行われています。平成14年３月には、この協議会と札幌市が協働で「ＪＲ苗穂駅周辺地区まちづくりガイドライン」をまとめました。

札幌市では、ガイドラインの重点地区である北海道ガス（株）札幌工場跡地、サッポロビール園、苗穂駅を含むエリアを対象に、再開発等の具体化に向けた「まちづくり計画」を策定しました。

なお、この計画の策定に際しては、ワークショップや懇談会の開催などにより、地域を交えた取り組みを積極的に行っています。